

**社協力向上プロジェクト事業(社協評価事業)  
自己診断シート**

□ 社協自己診断シート項目 (a:大変良くできている b:できている c:あまりできていない d:できていない)					
区分	診断項目	項目の解説	診断 (a,b,c,d)	組織の具体的な取組 ※具体的な取組があるものについては記載	区分ごとの現状及び成果や課題
<b>1 社会福祉協議会の経営理念、経営方針について</b>					
(1) て経営理念の策定について	① 理念がある	社会福祉法人としての使命を尊重した理念となっている			
	② 策定の際に、役職員がかかわっている	社協事業のみちしるべとなる理念を策定していくうえで、多くの役職員が関わっている			
	③ 理念を住民にわかりやすく伝えている	地域に必要な組織のひとつとして認識していただけるよう住民にもわかりやすく説明している			
	④ 理念を理解し、日々の業務に反映している	事業計画等に反映し、組織全体で取り組んでいる			
(2) て経営方針の策定に基づいて	① 毎年度の事業計画とは別に、中期的な経営方針がある	理念をさらに具現化した経営方針を策定し、中期的な計画の策定や部門ごとの取り組みの指針としている			
	② 策定の際に、役職員がかかわっている。				
	③ 経営方針を理解し、日々の業務に反映されている	経営方針を役職員が理解し、事業計画や日常の部門ごとの取組にも十分に反映されている			
	④ 住民に伝え、理解してもらう機会を設けている				
(3) 組織・財政改善計画等について	① 組織体制や財政について、定期的に見直しをしている				
	② 組織体制や財政について、役職員で協議をする場が設けられている				
	③ 組織体制や財政改善についての計画(社協発展強化計画※1等)を策定している	社協組織の今後の発展のための具体的な計画を策定している			
	④ 策定の際に役職員がかかわっている	社協が住民の期待に応えられる組織として発展するために、より多くの職員が関わっている			
	⑤ 具体的な目標を定めている	評価・分析も視野に入れて、具体的な目標を定めている			
	⑥ 目標達成に向けての進行管理(評価、見直し)を定めている				
	⑦ 計画の見直しについて具体的な仕組みを定めている	時代や地域のニーズに柔軟に対応できるよう、計画の見直しが行われる仕組みがある			
	⑧ 役職員間で共有ができている	<ul style="list-style-type: none"> <li>・組織・財政改善をテーマとした会議を開催している</li> <li>・役員会や職員研修で説明している</li> <li>・資料等を配布する等、共有してもらうための工夫をしている</li> </ul>			
	⑨ 住民に周知している	地域との協働を意識し、社協の取り組みを広く住民に理解してもらい協力を求めている			
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>※1 「社協発展強化計画」とは・・・ 社協組織として、地域福祉を推進するために必要な組織体制や財政、活動(事業)等に関する行動計画。 具体的には、経営理念や経営方針、経営戦略を明確にし、その実現にむけた組織、財政、事業等に関する具体的な取組みを明示したもの。</p> </div>					

**社協力向上プロジェクト事業(社協評価事業)  
自己診断シート**

区分	診断項目	項目の解説	診断 (a,b,c,d)	組織の具体的な取組 ※具体的な取組があるものについては記載	区分ごとの現状及び成果や課題
<b>2 組織体制について</b>					
<b>2-1 職員について</b>					
(4) 人材育成方針について	① 求められる社協職員像を明らかにしている	組織としてどういう職員を求めるか明確にしている			
	② 人材育成方針※2を策定している	組織としての人材育成方針を策定している			
	③ 人材育成方針について職員が理解している				
	④ 人材育成方針を研修計画に活かしている	人材育成方針（非正規職員を含めた）と職員研修計画（非正規職員を含めた）が連動している			
	⑤ 人材育成方針に基づいた人事管理を実施している				
	※2 「人材育成方針」とは・・・ 「地域住民が求める社協職員像」「時代が求める社協職員像」を職員が自己形成の目標にすべきものとして策定している基本的な方針、研修体系等を示したものの。				
(5) 職員研修の体制整備について	① 職員一人一人の研修計画※3を策定している	個々の職員（非正規職員を含めた）をの長所や能力に応じた研修計画を策定している			
	② 職場内研修を定期的実施している	具体的な仕事を通じて必要な知識・技術・技能・態度などを意図的・計画的・継続的に指導し、習得させ、業務処理能力や力量を育成している			
	③ 職場外研修に定期的に参加している				
	④ 研修計画に応じて、計画的に研修に参加している	研修の実施が組織的に取り組まれている指標のひとつとして、予算計上がなされている			
	⑤ 研修計画に応じて、研修参加費等、予算計上している	組織の代表として参加した外部研修の研修成果を職場全体に波及させるための取り組みがなされている			
	⑥ 会議や研修会等に参加した際の報告書（復命書）の義務付け、又は報告会を実施している				
	⑦ 職員の資格取得への支援制度や自主的な研修参加への奨励制度を設けている	職員のスキルアップアップを支援する仕組みがある			
	※3 「研修計画」とは・・・ 人材育成方針に基づき、計画的・組織的・継続的に職員研修を実施し、職員が各職務・職責を遂行するために必要とする資質能力の開発・向上を図るための計画。				

**社協力向上プロジェクト事業(社協評価事業)  
自己診断シート**

□ 社協自己診断シート項目 (a:大変良くできている b:できている c:あまりできていない d:できていない)					
区分	診断項目	項目の解説	診断 (a,b,c,d)	組織の具体的な取組 ※具体的な取組があるものについては記載	区分ごとの現状及び成果や課題
(6) に適 つ材 い適 て所 な人 員配 置	① 就業規則に異動の有無等、配置規準を明記している	配置転換を円滑に実施するため、異動の有無等を伝えて いる			
	② 組織の活性化を目的として配置転換を行っている				
	③ 人材育成を観点に入れた配置転換を行っている	職員研修課程があった上で人材育成方針が策定されてお り、それに基づき配置転換が行われている			
(7) つ自 て己 申 告 制 度 の 実 施 に	① 自己申告制度の目的や効果を役職員が正しく理解してい る	制度の目的を職員が正しく理解し、職員が十分に自己主 張する機会として捉えられている			
	② 自己申告の後、管理者とその内容について話をする場 (面談等)がある				
	③ 結果が人事管理に反映されている	制度が形骸化することなく、目的に沿って、人事管理へ の反映がなされている			
(8) 人 事 考 課 の 実 施 に つ い て	① 評価の目的や効果を職員が正しく理解している				
	② 客観的な基準・方法によって実施している	考課者が考課者研修や訓練等を受けて一定のレベルで評 価ができるようにしている			
	③ 結果を職員へフィードバックしている	評価の透明性を確保するため、職員への説明責任が果た されている			
	④ 人材育成に活用している	職員個々の強み、弱みを分析し、人材育成に役立ってい る			
	⑤ 人事異動に活用している				
(9) つ 給 与 体 系 の 構 築 に	① 職務・職責や勤務実態に応じた給与体系がある				
	② 給与体系を職員が十分理解している				
	③ 職員のモチベーション高揚につながっている				

**社協力向上プロジェクト事業(社協評価事業)  
自己診断シート**

□ 社協自己診断シート項目 (a:大変良くできている b:できている c:あまりできていない d:できていない)					
区分	診断項目	項目の解説	診断 (a,b,c,d)	組織の具体的な取組 ※具体的な取組があるものについては記載	区分ごとの現状及び成果や課題
(10) つ 非 正 規 職 員 の 雇 用 に	① 非正規職員の採用基準・処遇基準を明確にしている	非正規職員の有効活用を推進するため、採用に関する基準を設けている			
	② 非正規職員を評価する仕組みがあり、継続的に働くことができる体制を整えている	有期雇用者の雇用期間が終了した後も、継続的に雇用する体制が整っている			
	③ 社会福祉協議会の理解（社会福祉協議会の職員としての意識）を図るための取組をしている				
	④ 非正規職員の権限・責任を明確にしている				
(11) り 働 き や す い 職 場 環 境 づ く	① 定期的な個別面接を行っている	個別面接において、職員個々の状況や適性について把握をする機会を設けている			
	② 働きやすい労働環境づくりにむけ、職員の意見集約の仕組みがある	職員の個別の意見が集約され、協議される場がある			
	③ 管理職と職員等、役職に関係なく自由に意見交換できている				
	④ 役職員同士が交流をする機会がある	職場環境について役員に理解され、役職員が話し合う機会がある			
(12) に 業 務 を 円 滑 に 進 め る た め の 体 制 整 備	① 決裁規程が整備されている	各業務において最終判断者が明確にされている			
	② 業務の効率化や職員のモチベーションの向上を図っている	朝礼時等、職員が互いに顔を合わせる機会がある			
	③ 定期的に業務の到達点、進捗状況の確認を行っている	部署又は班内で、計画（P）、実行（D）、確認（C）、改善（A）サイクルを踏まえて業務を実施している			
	④ 上司が部下に対して、適切なスーパービジョンを行っている	スーパービジョンの機能を理解した上で、スーパービジョンを行っている 《スーパービジョンの3つの機能》 ① 管理的機能 ② 教育的機能 ③ 支持的機能			
	⑤ 業務について、他部所と連携をとる体制が日頃から出来ている				

**社協力向上プロジェクト事業(社協評価事業)  
自己診断シート**

□ 社協自己診断シート項目 (a:大変良くできている b:できている c:あまりできていない d:できていない)					
区分	診断項目	項目の解説	診断 (a,b,c,d)	組織の具体的な取組 ※具体的な取組があるものについては記載	区分ごとの現状及び成果や課題
<b>2-2 役員について</b>					
(13) 役員の役割について	① 役員が役割と責任を理解している	<社会福祉協議会 理事の責務> 1 事業執行の決定に参画すること 2 事業執行が法令や定款に適合しているかどうか判断すること 3 善管注意義務 4 職務遂行義務 5 競合避止義務			
	② 役員が社会福祉協議会の使命について理解している				
	③ 役員研修会の機会を確保し、研修会参加の呼びかけを役員に行っている				
	④ 研修会に役員が積極的に参加している				
	⑤ 役員に、社協情報や全国的な動き等の情報を伝達している				
	⑥ 事業担当理事を設置している	役員の担当制がある			
	(14) 理事会・評議員会について	① 経営責任をとれるような役員構成や選出基準をもっている	経営責任等を取れるような役員構成（経営に関するアドバイザーをもらえる人の参画）等になっている		
② 理事会を年4回以上開催している		理事が十分な議論をし、社協の経営に携わっている			
③ 評議員会を年2回以上開催している		社協を構成する団体等の意見を反映した事業展開となっている			
④ 出席率は90%以上となっている		理事・評議員が積極的に会議に参加している			
⑤ 理事会・評議員会等において、資料を事前に役員に送付している		役員が理事会等で発言できるように、事前に資料を送り、目を通していただけるように工夫をしている			
⑥ 経営方針、事業計画にしたがって事業が執行されているかについて協議し、適宜確認している		会長等役員に適宜事業の執行状況を説明し、意見をもらうようにしている			
(15) 設会役員に部会議など（委員の	① 役員を構成メンバーとして委員会や部会を設置している				
	② 検討内容と結果を組織全体が理解している	役員会議の検討内容等は、管理職以外の職員にも報告、周知している			
	③ 役員が組織や事業について意見を出し、検討する仕組みが実質的に機能している				

**社協力向上プロジェクト事業(社協評価事業)  
自己診断シート**

□ 社協自己診断シート項目 (a:大変良くできている b:できている c:あまりできていない d:できていない)					
区分	診断項目	項目の解説	診断 (a,b,c,d)	組織の具体的な取組 ※具体的な取組があるものについては記載	区分ごとの現状及び成果や課題
(16) の法 強人 化へ 組 織 に 機 能	① 組織内(本部と支部等)の組織機能が具体的に明確になっている	社協組織内の組織機能について明文化されているものがある			
	② 職務内容、範囲を明確にした職務分掌表を整備している				
<b>2-3 組織機能、活動基盤の強化について</b>					
(17) つ 会 員 で 構 成 に	① 「社会福祉法人モデル定款」に定められた会員構成の基準に基づいた会員構成となっている	定款とは別に独自の「会員規程」を整備している			
	② 社協組織にふさわしい会員構成となっている	社会福祉法において明記された広い構成団体による会員制度となっている			
(18)  他 分 野 と の 協 働 に つ い て	① 地域の社会資源を把握している	地域の社会資源を活用することを常に意識している			
	② 地域福祉を推進する他団体※4や関係機関との協働による活動・事業・サービスを実施している				
	③ 地域福祉を推進する他団体や関係機関へ情報提供をしている				
	④ 地域福祉を推進する他団体や関係機関の組織化の支援をしている	他団体からの組織設立の相談等に応じ、支援している			
	⑤ 地域福祉を推進する他団体や関係機関の活動支援をしている	他団体の活動継続や発展のための相談に応じ、支援している			
	⑥ NPO法人や社会福祉施設等の機関とのネットワークづくりを行っている	地域福祉を推進する他団体や関係機関と連携をとって事業を展開している			
	⑦ 関係機関や団体に対し、協働したいことや担ってほしいこと等を示し、積極的な働きかけを行っている				
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">           ※4 「地域福祉を推進する他団体」とは・・・ここでは、NPO法人、民間企業、任意団体、法曹等を示す。         </div>					

**社協力向上プロジェクト事業(社協評価事業)  
自己診断シート**

□ 社協自己診断シート項目 (a:大変良くできている b:できている c:あまりできていない d:できていない)					
区分	診断項目	項目の解説	診断 (a,b,c,d)	組織の具体的な取組 ※具体的な取組があるものについては記載	区分ごとの現状及び成果や課題
<b>2-4 透明性の確保について</b>					
(19) 適 切 な 公 開 組 み の 整 備 と	① 社協だよりを発行している	社協だよりを年4回以上は発行している			
	② 社協パンフレットを作成している	住民等へ紹介する独自のパンフレットを作成している			
	③ ホームページを開設し、定期的な更新をしている				
	④ 広報担当者、担当部門を設置している				
	⑤ 事業報告、事業計画、決算、予算等を広報誌やホームページで住民に知らせている				
	(20) 個 人 情 報 保 護 の 取 組 に つ い て	① 個人情報保護についての規程を整備している			
② 個人情報を適切に保護・管理している		個人情報が含まれている書類やデータは鍵つき書庫で保管したり、ID、パスワード等を使用し適切に管理している			
③ 通信環境から情報漏えいしない様、通信環境の整備をしている		ファイアーウォール等、必要な措置を講じている			
④ 個人情報の保護について役職員が理解している		役職員に個人情報保護について説明する等し理解を促している			
⑤ 守秘義務について職員から誓約書をとっている					
(21) 倫 理 規 定 に つ い て	① 倫理規程を整備している				
	② 倫理規程を役職員が理解している	役職員に倫理規定について説明し、理解を促している			
	③ 倫理規程の遵守についてチェック体制をもっている	倫理規程に基づいた行動がとれているかチェックする体制をもっている			

**社協力向上プロジェクト事業(社協評価事業)  
自己診断シート**

□ 社協自己診断シート項目 (a:大変良くできている b:できている c:あまりできていない d:できていない)					
区分	診断項目	項目の解説	診断 (a,b,c,d)	組織の具体的な取組 ※具体的な取組があるものについては記載	区分ごとの現状及び成果や課題
(22) つ 苦 い 情 で 受 付 、  対 応 整 備 に	① 苦情解決の体制を整備している				
	② 苦情解決体制を役職員が理解している				
	③ 苦情解決体制を住民に説明している				
	④ 住民からの苦情について、その内容と対応策について公表している				
	⑤ 第三者委員を設置している	第三者委員等の外部の人から社協組織や事業について意見を聞く機会を設定している			
(23) い 受 住 て け 民 止 め る ( 会 員 ) の 仕 組 み の 意 見 の 整 備 を 幅 に 広 つ く	① 住民(会員)の意見を幅広く受け止める手段や方法について検討する場がある				
	② 社協が運営する各種委員会に公募委員が参画している				
	③ 住民の意見やニーズを受け止めるための仕組みがある	意見箱の設置やメール等により、住民の意見やニーズを把握している			
	④ テーマに基づくアンケートを実施している	住民の意見やニーズを把握するためのアンケートを実施している			
	⑤ SNS等を活用し、住民と意見交換できる仕組みを設けている	Facebook等により、直接住民と情報交換できる仕組みがある			
<b>3 財政について</b>					
(24)           社 協 会 費 、 寄 附 等 に つ い て	① 社協会費の必要性が明確にされている	社協が会費をいただく意味を住民に明確にしている			
	② 役員及び職員や社協会費の必要性について理解している				
	③ 社協会費の収入の目標額を設定している				
	④ 住民会費について住民への説明を十分行い、理解、合意が得られている				
	⑤ 住民会費の用途を明確にしている	年1回以上、住民会費の用途を広報誌等で報告している			
	⑥ 賛助会員を募集している	年1回以上、賛助会費について広報誌等を活用し募集している			
	⑦ 役職員が企業・団体を訪問し寄附金の依頼をしている	役職員が直接出向き、寄附金等の確保に向けて動いている			
	⑧ 寄附金の目的と用途について事前に住民に説明している				
	⑨ 寄附金の目的と用途について事前に企業・団体へ説明している				
	⑩ 寄附金の用途を寄付者及び住民等に報告している				

**社協力向上プロジェクト事業(社協評価事業)  
自己診断シート**

□ 社協自己診断シート項目 (a:大変良くできている b:できている c:あまりできていない d:できていない)					
区分	診断項目	項目の解説	診断 (a,b,c,d)	組織の具体的な取組 ※具体的な取組があるものについては記載	区分ごとの現状及び成果や課題
(25) 整財務に管 つ理い体 て制の	① 内部牽制体制を確立している	内部でチェックをするための体制が定められている			
	② 外部監査制度を導入している				
	③ 基本財産・運用財産を適正に管理している				
(26) つ公 い費 て補 助に	① 公費補助を社協が受けること理由を役職員が理解している				
	② 社協側から行政に公費補助獲得に向けた事業の提案をしている	過去3年間で社会的な課題解決に必要な事業について行政に提案したことがある			
(27)  自主財 源の確 保につ いて	① 社協の構成団体を増やす等、会員の増加に向けての取り組みを行っている				
	② 助成制度の活用を積極的に行う等、事業収入確保に向けた具体的な取り組みがある				
	③ 公益事業を実施するにあたり、計画通りの収益を確保できている				
	④ 収益事業を実施するにあたり、計画通りの収益を確保できている				
	⑤ 共同募金の使途を住民に説明している				
	⑥ 役職員が共同募金の趣旨を理解し、地域の現状に沿った事業について配分申請をしている				
(28) つ予を先 い算行 駆のう 的 確た な 保め 事 業 にの	① 新規事業等、先駆的な事業を行う予算が確保できている				
	② 共同募金の配分金は、先駆的、モデル的事业に活用し、取り組んでいる				

**社協力向上プロジェクト事業(社協評価事業)  
自己診断シート**

□ 社協自己診断シート項目 (a:大変良くできている b:できている c:あまりできていない d:できていない)					
区分	診断項目	項目の解説	診断 (a,b,c,d)	組織の具体的な取組 ※具体的な取組があるものについては記載	区分ごとの現状及び成果や課題
(29) 人件費について	① 人件費補助等について行政の理解を求めている	社協の社会的な役割を明確にし人件費補助について理解を求めている			
	② 公益事業、収益事業により人件費確保に努めている				
	③ 委託事業や補助事業を受ける際に人件費を確保している				
	④ 事業量と人員のバランスを検討し、適正な人員配置をしている				
	⑤ 支出のうち人件費の占める割合は50%以下である				
(30) 的財 てな政 展の 展中 に長 つ期	① 中長期的な財政の見通しを数値化している	今後の財政状況について、具体的に数値化したシミュレーションがある			
	② 客観的な現状(数値化した情報等)をもって、今後の具体的な対策や展望を立てている				
<b>4 活動・事業の実施について</b>					
<b>4-1 活動・事業の目的、社協らしい活動・事業展開</b>					
(31) ス業活 に・動 つサ・ い事 てビ	① 各事業や活動の目的、到達目標をきちんと定めている				
	② 部署や班内で計画(P)、実行(D)、確認(C)、改善(A)のサイクルを踏まえて実施している				
(32) い本住 ての民 原二 則1 にズ つ基	① 過去3年間で、調査等を実施し住民の要望等を把握したことがある				
	② 過去3年間で住民ニーズに応えるための事業の検討を行ったことがある				
(33) ての住 原民 則活 に動 つ主 い体	① 過去3年間で、住民の福祉への関心を高めることを目的とした事業を実施したことがある				
	② 過去3年間で、住民の自発的・主体的参加による活動の場をつくったことがある				

**社協力向上プロジェクト事業(社協評価事業)  
自己診断シート**

□ 社協自己診断シート項目 (a:大変良くできている b:できている c:あまりできていない d:できていない)					
区分	診断項目	項目の解説	診断 (a,b,c,d)	組織の具体的な取組 ※具体的な取組があるものについては記載	区分ごとの現状及び成果や課題
(34) い 民間性の原則につ	① 過去3年間で、住民のニーズに応えるための事業の検討を行ったことがある				
	② 住民からのニーズや課題にすぐに対応する姿勢を常にもっている	住民からの相談等にすぐに対応するように職員間で徹底されている			
	③ 住民や利用者のニーズや地域の課題に応じて、制度や運用を柔軟に変えている				
(35) つ 公私協働の原則に	① 地域福祉を推進する他団体や関係機関と連携を図っている				
	② 民間団体と連携を図っている				
	③ 行政や他団体と協議をする場がある				
	④ 行政や他団体との具体的な協働事業がある				
(36) つ 専門性の原則に	① 過去3年間で、住民の福祉活動等に関する組織化をしたことがある				
	② 過去3年間で、ニーズ把握のための調査や座談会等を開催したことがある				
	③ 過去3年間で、個別の相談に対応し新たな社会資源を開発したことがある。	支援に結び付ける際には、既存の資源だけではなく、必要に応じて新たな社会資源もつくっている			

**社協力向上プロジェクト事業(社協評価事業)  
自己診断シート**

□ 社協自己診断シート項目 (a:大変良くできている b:できている c:あまりできていない d:できていない)					
区分	診断項目	項目の解説	診断 (a,b,c,d)	組織の具体的な取組 ※具体的な取組があるものについては記載	区分ごとの現状及び成果や課題
(37)  「地域福祉活動計画」の策定について	①	地域福祉活動計画は、社協の理念に基づいて、その上に策定されている			
	②	具体的な数値目標が設定されている			
	③	計画に行政の役割と民間(社協、関係機関・団体、住民)レベルの役割が明確になっている			
	④	策定委員会を設置している			
	⑤	策定委員会に、社協役員も参画している			
	⑥	策定委員会は、広く関係機関・団体により構成している	行政、地域住民のみではなく、その他、地域づくりをすすめている団体(商工会議所、労働者福祉協議会、地域づくり協議会等)にも参加してもらっている		
	⑦	職員でのワーキングチーム(作業部会、勉強会)を実施した			
	⑧	住民懇談会やアンケート等、住民の声を聴く機会を設け住民が主体となるような計画づくりができています			
	⑨	役職員が関わり、定期的に計画の進行管理、見直しを行っている			
	⑩	地域福祉計画と地域福祉活動計画を一体的に策定している			
	⑪	計画について、全職員で共有が図れる仕組みがある			
	⑫	役職員が計画を理解している			

**社協力向上プロジェクト事業(社協評価事業)  
自己診断シート**

□ 社協自己診断シート項目 (a:大変良くできている b:できている c:あまりできていない d:できていない)					
区分	診断項目	項目の解説	診断 (a,b,c,d)	組織の具体的な取組 ※具体的な取組があるものについては記載	区分ごとの現状及び成果や課題
<b>4-2 ふれあい・いきいきサロン</b>					
(38) サロン活動の促進について	①	社協としてサロンを普及させていく目的や戦略を持って、サロン活動の支援をしている		サロンを普及させることで地域がどのようになるかの将来ビジョンをもっている	
	②	サロンを知らない住民等へサロンの良さを伝えるために広報誌やパンフレット等での啓発を行っている			
	③	高齢者サロンだけでなく、障がい児者、子育て中の親子、誰でも参加できるサロンなど、様々な方々を対象にしたサロンを提案している			
	④	サロンの担い手等の連絡会・交流会を開催している			
	⑤	サロンの担い手を対象として研修会を開催している			
	⑥	サロンの参加者の中から上がってきた個別の相談に対応している			
(39) つばさい握りてするの現状を	①	社協職員が必要に応じてサロンに出向き、様子を把握している			
	②	サロン参加、実施により、参加者、地域がどのように変化したか、効果測定をしている。		サロンが地域にできたことによる効果を検証したことがある	
<b>4-3 小地域見守りネットワーク活動</b>					
(40) つ動ネ小いのツ地て実ト域見把守握クリに活	①	支援を必要とする方の数を把握している			
	②	小地域見守りネットワークの数を把握している			
	③	小地域見守りネットワーク対象者の課題を把握している			

**社協力向上プロジェクト事業(社協評価事業)  
自己診断シート**

□ 社協自己診断シート項目 (a:大変良くできている b:できている c:あまりできていない d:できていない)					
区分	診断項目	項目の解説	診断 (a,b,c,d)	組織の具体的な取組 ※具体的な取組があるものについては記載	区分ごとの現状及び成果や課題
(41) 開小に地 つ域い見 てりネッ トワー ク活 動の展	① 対象者を限定せず、支援が必要な人に対してネットワーク活動をおこなっている				
	② 見守りネットワークに民生委員、福祉員以外の住民にも参画してもらっている	福祉関係者のみではなく、一般住民の協力を得ている(自然な形の助け合いを活用している。)			
	③ 要支援者の活躍の場を引き出すようなネットワーク活動をおこなっている	見守りあう、見守られあうネットワーク活動を進めている			
	④ 見守りあう、見守られあうネットワーク活動を進めるための戦略(需給調整会議、マップづくり、こねっと会議)等をもっている	地域の要支援者を把握する手法を持っている			
	⑤ 災害時の要支援者名簿を行政と共有している				
(42) て関 係機 関・ 団 体 と の 連 携 に つ い て	① 福祉員を見守りネットワークのメンバーとして位置付けている	福祉員との連携を図っている			
	② 民生委員・児童委員が進める「ふれあいのネットワークづくり運動」との連携を図っている				
	③ 老人クラブが進める「友愛訪問活動」との連携を図っている				
	④ 自治会長との連携を図っている	自治会長から情報等を得る機会をもっている			
	⑤ 地域で解決できないニーズは、関係機関へつなぐシステムができています				
	⑥ 見守りネットワークに生活関連事業者も含めている				
(43) の継 続 的 な 活 動 展 開	① 要支援者の個別台帳を作成している	要支援者等を記録する台帳をつくっている			
	② 需給調整会議等話し合いの活動を行っている(定期的な活動の見直しを行っている。)	要支援者について定期的に検討する場をもっている			
	③ 情報交流会や研修会を開催している	見守りネットワークの充実を図るために、支援者の研修を行っている			

**社協力向上プロジェクト事業(社協評価事業)  
自己診断シート**

□ 社協自己診断シート項目 (a:大変良くできている b:できている c:あまりできていない d:できていない)					
区分	診断項目	項目の解説	診断 (a,b,c,d)	組織の具体的な取組 ※具体的な取組があるものについては記載	区分ごとの現状及び成果や課題
<b>4-4 住民の話し合い活動(住民座談会)、福祉関係者の話し合い活動(需給調整会議)</b>					
(44) 住民座談会について	① 意義や目的、進め方を職員が理解している				
	② 定期的に開催している				
	③ 行政職員も座談会に参加してもらっている				
	④ 必要に応じて、行政の行う懇談会と座談会を一緒に開催している				
	⑤ 幅広い世代が参加できるよう、開催時間や開催曜日等の工夫をしている				
	⑥ 社協活動に関する分かりやすい資料等を作成し、住民に説明している				
	⑦ 多くの参加者から意見を引き出せるような工夫をしている				
	⑧ 話し合いで出された生活ニーズを新たな活動につなげたことがある				
	⑨ 話し合いで出された生活ニーズを整理し、行政等の関係機関へ提言している				
	⑩ 広報誌等を活用し、住民座談会の様子を報告している	話し合いの実施状況を住民に紹介している			
(45) 需給調整会議について	① 意義や目的、進め方を職員が理解している				
	② 需給調整会議を自治会レベル、地区社協レベル等で開催している				
	③ 定期的な開催を促している				
	④ 需給調整会議の状況を社協が把握できるようなしくみを持っている				
	⑤ 会議では必要に応じて、専門職や関係機関・団体に参加をしてもらっている				
<b>4-5 単位自治会・町内会活動と福祉活動の一体的な展開(自治会福祉部活動)</b>					
(46) 自治会福祉部について	① 自治会福祉部等の目的や意義を明文化したものがあ	自治会・町内会(福祉部)と地区社協、市社協との目的、意義、必要性を明確にしている			
	② 職員が理解し、住民に対して意義や目的を説明できる				
	③ 自治会福祉部で取り組む活動例を資料等で作成している				
	④ 自治会(町内会)連合会との連携を図っている				
	⑤ 自治会・町内会規約(会則)の中に、福祉部を位置づけるように提案している	会則に明文化することの意義を職員が理解している			
	⑥ 広報誌等を通じて、自治会福祉部活動を住民に紹介している				

**社協力向上プロジェクト事業(社協評価事業)  
自己診断シート**

□ 社協自己診断シート項目 (a:大変良くできている b:できている c:あまりできていない d:できていない)					
区分	診断項目	項目の解説	診断 (a,b,c,d)	組織の具体的な取組 ※具体的な取組があるものについては記載	区分ごとの現状及び成果や課題
<b>4-6 福祉員</b>					
(47) 取福祉 組社の 員実の 施資に 質つ向 い上て に 向けた	① 福祉員の役割や活動内容を明確にしている				
	② 年1回以上、福祉員を対象とした研修会を実施している				
	③ 年1回以上、福祉員に情報提供を行っている				
	④ 民生委員・児童委員、自治会役員、老人クラブなどとの連携、役割分担が図れるように支援している	民生委員・児童委員、自治会役員等と連携した活動ができるように各団体等に福祉員の存在をPRしている			
	⑤ 広報誌等で、福祉員活動の理解と協力を住民に促している				
(48) の福祉 組社員 つ活 く動 りの に強 つ化 いの ため	① 市町範囲で福祉員連絡協議会などを組織化している	市町範囲で福祉員が情報交換をするような連絡会を組織化している			
	② 地区範囲で福祉員連絡協議会などを組織化している	地区範囲で福祉員が情報交換をするような連絡会を組織化している			
	③ 小地区範囲で福祉員連絡協議会などを組織化している	自治会等の小地域の範囲で福祉員が情報交換をするような連絡会を組織化している			
	④ 福祉員の定例会等で地域課題の検討・協議の場をもっている				
(49) 取展継 組開統 にの 的 つた ない め活 ての 動	① 任期を定めている				
	② 福祉員のリーダーを養成している	福祉員のリーダーを養成するしくみを事業化している			
	③ 福祉員が活動記録を書くような仕組みをつくっている	関係者との共有や福祉活動の見える化のため、活動記録を書いている			

**社協力向上プロジェクト事業(社協評価事業)  
自己診断シート**

□ 社協自己診断シート項目 (a:大変良くできている b:できている c:あまりできていない d:できていない)					
区分	診断項目	項目の解説	診断 (a,b,c,d)	組織の具体的な取組 ※具体的な取組があるものについては記載	区分ごとの現状及び成果や課題
<b>4-7 「小地域福祉活動計画」の策定</b>					
(50) 「小地域福祉活動計画」の策定について	① 「小地域福祉活動計画」を策定している				
	② 計画の必要性を理解している	役職員が計画を理解し、住民にも説明することができる			
	③ 「小地域福祉活動計画」の必要性を住民に伝え、策定を働きかけている	策定までの取組（プロセス）を住民に紹介している			
	④ 社協として地区ごとの「小地域福祉活動計画」の策定を進めていく計画を持っている				
	⑤ 策定の必要性や方法を伝える研修会や会議を開催している				
	⑥ 「小地域福祉活動計画」の策定指針を作成している	策定方法等を示した資料がある			
	⑦ 策定した「小地域福祉活動計画」の内容を住民に説明している				
	⑧ 「小地域福祉活動計画」と「地域福祉活動計画」、「地域福祉計画」の連動、整合性を図っている	小地域福祉活動計画で上げられた課題を地域福祉活動計画に反映したことがある			
<b>4-8 地区社協(小地域福祉活動推進組織)への支援</b>					
(51) 地区社協への支援について	① 地区社協に対する支援方針をもっている	地区社協の育成方針や将来像について明文化したものがあ			
	② 支援方針をもって、地区社協に活動・事業実施の提案を行っている				
	③ 財源（補助金、助成金）の支援をしている	活動を活性化させるための財源補助等をしている			
	④ 情報提供を定期的に行っている	年1回以上情報提供を行っている			
	⑤ 地区社協の構成員を対象とした研修会を実施している				
	⑥ 定期的な企画会議の開催を提案している	定期的に会議を開催し、集うことの意義を説明している			
	⑦ 地区社協を小地域における住民福祉活動の活動拠点として整備している				
	⑧ 地区社協を基盤に、小地域福祉活動の計画づくりを進めている				
	⑨ コーディネーター等の配置を提案している	地区社協の活動を活性化させるための人的基盤整備をしている			
	⑩ 職員の地区担当制を設ける等、職員が地区社協に積極的に出向いている				

**社協力向上プロジェクト事業(社協評価事業)  
自己診断シート**

□ 社協自己診断シート項目 (a:大変良くできている b:できている c:あまりできていない d:できていない)					
区分	診断項目	項目の解説	診断 (a,b,c,d)	組織の具体的な取組 ※具体的な取組があるものについては記載	区分ごとの現状及び成果や課題
<b>4-9 福祉教育・ボランティア学習</b>					
(52) 向住民 上の福 祉に 対する 関心 の	① 福祉教育の担当者を配置している				
	② 福祉について理解してもらう住民向けの講座や事業を実施している				
	③ 福祉に関するテーマをもとに、他分野や他職種と協働で協議する場をもっている	福祉をテーマに他分野や他職種と協働し、福祉に対する関心を高めてもらう取組をしている			
	④ 社協発の福祉教育プログラム、事業を実施している				
	⑤ 教育委員会、学校と連携をして福祉教育を実施している				
<b>4-10 ボランティアセンター</b>					
(53) で住 民の 場 の 発 展 性 を 主 体 性 が 発 揮	① ボランティアコーディネータ等、個別の相談に対応出来る職員がいる	住民の自発性や主体性を尊重できるようなボランティア活動等のコーディネートを行う職員がいる			
	② 住民が主体的に参加できる活動の場を提案している	住民が気軽に参加し、主体的な活動を行うことのできるきっかけづくりの場を提案するとともに、活動者の発掘にも積極的に取り組んでいる			
	③ ボランティア連絡協議会を組織化している				
	④ 市町の各ボランティアグループの活動内容を把握している	ボランティアをしたい人と活動をスムーズにつなぐための体制が整備されている			
	⑤ 市民活動支援センター等の関係機関と連携を図っている				
(54) の災 害 ボ ラ ン ティ ア セ ン タ ー 運 営	① 緊急、災害時の各部署の役割や職員の役割等を示している				
	② 災害ボランティアセンター運営のマニュアルの作成、及び定期的な見直しを行っている				
	③ 災害ボランティアセンター立ち上げの模擬訓練等を実施している				
	④ 災害ボランティアセンター運営時のスタッフ養成に取り組んでいる	災害時のボランティアセンターの運営、また職員派遣の体制を整えるために、研修の開催または受講等、運営スタッフの養成を行っている			
	⑤ 行政や関係機関と災害時における連携、役割分担を明確にしている				

**社協力向上プロジェクト事業(社協評価事業)  
自己診断シート**

□ 社協自己診断シート項目 (a:大変良くできている b:できている c:あまりできていない d:できていない)					
区分	診断項目	項目の解説	診断 (a,b,c,d)	組織の具体的な取組 ※具体的な取組があるものについては記載	区分ごとの現状及び成果や課題
<b>4-11 在宅福祉サービス</b>					
(55) ついでに在宅福祉サービスに	①	在宅福祉サービスを担当する職員と地域福祉担当職員の間で問題事例等の共有、相談の体制ができている		住民の生活を支えるという共通の視点に立ち、サービス担当者地域福祉担当者で事例共有や相談体制ができている	
	②	社協らしさを意識したサービスの提供に努めている		職員が公益性をもった社協としての使命を意識し、サービスを提供できている	
	③	サービスの提供にとどまらず、利用者のニーズや生活課題を把握している			
<b>4-12 相談支援体制</b>					
(56) ついでにサービスの把握に	①	相談者(対象者)について、自分の業務で対応できるか否かだけでなく、他部所や関係機関に繋ぐことも視野に入れて話を聞いている			
	②	アウトリーチを実施している		相談員が直接出向き、出張相談を行ったり相談体制をとっている	
(57) ついでに情報の蓄積及び共有に	①	日々の相談内容について、相談記録等を用いて、職員間で共有をしている			
	②	対応困難な相談内容等について、「ケース検討会」を開催している			
	③	広報誌やHP等を通じて、定期的に相談事業を広報している			
(58) ついでに相談受付後の対応に	①	相談窓口で受けた相談や個別ニーズを社協事業に結び付けている			
	②	社協事業では対応できないケースについて、関係機関と調整をし、必要な支援に結び付けている			
	③	関係機関と調整をし、必要な支援に繋いだ後の状況も把握している			